

# つくしんピック



空き缶積み競技



玉入れ



各活動場所を結んで初のリモート開催

# 里だより

No.353

令和3年6月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



六月号もくじ

サービス向上委員会より・ ありがとうございました・ 編集後記……………	6
行事報告……………	5
職員より・医務より……………	4
主任より……………	3
業務部より……………	2
施設長より……………	1

(ページ)



## 施設長より

### 「時時勤払拭」

今年を観測史上二番目に早い梅雨入りが発表され、五月の過ぎやすい季節を半分奪われたような勿体ない感じがしますが、新型コロナウイルスの感染が再度拡大し始めた中、もうしばらく歩くなという知らせなのでしようか。

ゴールデンウィークの外泊を楽しみにされていた利用者さんも多かったのですが、四月末の感染拡大とリスクレベル5の発表を受け、外出・外泊・面会、在宅からの利用など制限を強化させていただきました。利用者さん・ご家族の皆様にはご心労をおかけしており、大変申し訳ございません。

さて、各自治体においてワクチン接種がスタートしました。つくしの里には、六十五歳以上の利用者さんが二十四名利用されていますので、ご本人・ご家族・後見人への説明をさせていただきます、ワクチン接種の承諾をいただきました。新型コロナウイルスに感染するのは嫌だけど、ワクチンの副反応も怖い。利用者さんも高齢のうえ基礎疾患があり、日頃より体調を崩される方も多いため、ご家族の一存で決めるのに悩まれるケースもありました。何度も受けているインフルエンザの予防接種とは違い、誰もが初めてのワクチン接種ですので、悩まれるのは当然のことだと思います。また、ご家族自身の予約も取れない中、利用者さんの接種が決まったことに感謝を述べられることも多くありました。こちらの方こそ頭が下がる思いです。

福祉施設のワクチン接種の予約や接種の場所等については、各自治体での取り決めに違いもあり、近隣市町村の事業所より、つくしの里はどのようなにするのかとの問い合わせもありましたが、各関係機関のご協力により、つくしの里では施設内で接種できるようにになりました。ありがたい限りです。この「里だより」がお手元に届く頃には、第一回目の接種が終わっています。対象者全員が無事に終わることを祈るばかりです。

感染後、重症化する確率が高い高齢者の接種が終われば一安心ではなく、今では感染力が強いといわれる変異株での感染が若年層で広がっています。未接種の利用者さんやスタッフのワクチン接種も早く終わらせたいのですが、現時点での詳細は未定ですので、分かり次第お伝えします。

コロナ禍で、なかなか人と会うこともはばかられるようになっていた昨今、今回のワクチン接種の件においても人と人とのつながりの大切さを改めて感じます。今年は梅雨も長くなりそうです。ジメジメした気候に加え、ムシムシしたマスクの着用に不快指数も高くなるのでしよう。

「時時に勤めて払拭せよ」という教えがあるように、このような時ほど、内々を磨き、心穏やかに人と接することを心掛けたいと思います。

施設長 松永 一博



## 業務部より

### 五月の事務局

先月号の「里だより」で退職の挨拶を掲載させていただきましたが、事務職員二名が四月末日をもって退職いたしました。

当初、三月末日付の申し出でしたが、決算等、特に慌ただしい時期でもありましたので、一カ月期日を延ばして、最後の業務にあたってくれました。お陰様で、決算の数字も無事に固まり、内部経理監査、会計事務所の確認、監事監査を終えることができました。

後輩指導にも尽力してくれて、一通りの引き継ぎを終えて、立鳥跡を濁さず、ではないですが、新しい一步を踏み出していきました。

十五年、九年と決して短くない期間、法人と施設の適切な運営のために頑張ってくれた二名には感謝の気持ちでいっぱいです。後を引き継ぐ三名は、頼りにしていた先輩が抜けることに大きな不安を隠せないようですが、それぞれが一生懸命に担当業務に取り組んでいます。最初は誰でも新人で、失敗しながらスキルを上げていくものと思いますので、同じ失敗を繰り返さないよう丁寧に一人ひとりを見ていくつもりです。

利用者さんのご家族を始め、関係者の皆様には、ベテラン職員が抜けることで、様々な心配もあるかと思いますが、これまでと同様、信頼していただける事務局であるよう、新メンバー一同、まい進していく所存です。何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、この場をお借りして、簡単に事務職員をご紹介します。

まず、これまでは一番年下だったのに、一番の先輩になってしまった黒田です。育休から復帰早々に先輩たちの退職を知り、ショックも大きかったようですが、新たなまとめ役として踏み出しました。次に、産休代替職員から正職員になった樋口です。新しく担当する業務として、請求事務に従事しています。今回の報酬改正には苦労したようですが、なんとか乗り切りました。最後に、入職したての井手です。前職は高齢者施設での調理員、その前は交番勤務の警察官という経歴です。利用者さんとも積極的にコミュニケーションを図り、早くつくしの里に慣れようと努めています。三名とも二十代で、新しいことへの順応性も高いので、今後の成長に期待しています。

私は一人で平均年齢を上げていますが、これまでの経験を活かしつつ、頭を柔らかくして、一日でも早く私を追い越す人材が育つよう勤しみたいと思います。

業務課長 光永明日美



明るく笑顔でハキハキと！  
つくしの里の「玄関」として  
がんばります♪

## 主任より

### 最近あった事…

先日、故障の為、自家用車を廃車する事になりました。二十代の頃から乗り続け、十五年間お世話になった車だったので、感慨深いものがありました。つくしの里に就職した時も、結婚した時も、子どもが出来た時も、地震の時も一緒に過ごした車でした。

通勤の坂道で突如、エンジンがストップし、エンジンをかけ直してその時は事なきを得ましたが、帰路も何度か止まりながら帰り、次の日に修理に出したところ、エンジンが故障していました。ちよっとした部品の交換を怠った事で、廃車となり、日々のメンテナンスの大切さ、備えの大事さを改めて感じました。

さて今年、九州南部では五月十五日に梅雨入りしました。梅雨入り早々、雨量も多く、益城方面では床下まで浸水した所もあるそうです。過去に梅雨入りが早かった年は、梅雨の期間が長くなる傾向との事でした。昨今の熊本は、雨の被害も甚大で、不安もあります。どれだけ続くかは分かりませんが、災害に繋がらないよう心から祈っています。

梅雨が長いと、やはり鬱々としてくるものです。現在のコロナ禍も同じで、気分が沈む事も多いと思います。ただ、その中でも、お互いに助け合う場面があり、繋がり大切さや、今までやれなかった事を行う等、新しい発見もあります。止まない雨はありません。梅雨にもコロナにも負けずに頑張っていきましょう。

主任支援員 山中 真史



**施設PR 今月の1枚!**

**牛乳パックのリサイクル  
作業に爽やかな笑顔で  
取り組んでいるSさんの  
写真に決定!**

## 職員より



ずっと担当をしてみたいと思っていたKさんの担当を、偶然ながら今年度させて頂くことになりました。担当以外では長くお付き合いしていますが、よく考えるとKさんの好みなど、よく分かりません。担当になって日用品を購入するに当たり、色や柄に悩み店から御本人へ電話をかけて尋ねたりしています。尋ねても、人の好み・頭の中でイメージしていることって分からないものですね。うまく伝わっていなかった、聞き出せない（引き出せない）など、利用者さんとのやりとりや職員との会話で日々感じています。

Kさんは、物静かな方です。歯磨き粉・ジュース・お菓子・帰省など、自分の欲求が高いことに関しては自ら話をされますが、自分の気持ちを話される事は滅多にありません。どんなことを感じ考えているのだろう…と謎で、どうにかして知りたい！のです。そこで、今年度はKさんが好きな「食」に関することから、Kさんの自己表現の場を広げていくことにしました。①調理実習で作る物の材料・必要な調理器具・工程を考える、②毎月の給食会議における班での事前の話し合いと会議への参加・議事録をとり、班利用者へフィードバックする。③Kさんの歴史を知る。④フェイシャルマッサージで表情筋を和らげる。

既に新たな発見があり、感動しているところです。これから一年、楽しみです。また、結果を報告します。お楽しみに（^^）  
(支援員 中尾)

新年度が始まり、あっという間に6月になりました。季節は変わっていくものの、まだまだ落ち着かない新型コロナウイルス。いつになったら収束するのでしょうか。我が家でも、マスク・消毒をする事が日常になりました。そんな中でも、ひとつ良い事が・・・マスクをすると口元のほうれい線が隠れ、若くみえたりするのです。先日も、孫の部活の迎えに行った時「お母さん」と呼ばれ「はい」と返事をしておきました。こんなご時世なので、嫌な事も少しでもプラスにしていきたいものです。

そんな中でも、利用者さん達は、毎日変わらない笑顔で活動や運動に取り組まれています。コロナが落ち着き、またいろんな所に出かけて行ける日がきて欲しいものです。

(支援員 山田)

## 医務より

昨年より話題の尽きない新型コロナウイルスについて、つくしの里でもワクチンの予防接種が開始になります。まずは、65歳以上の高齢者の方です。予定としては、1回目5月28日、2回目6月18日です。高齢者の方の2回分のワクチンをセントラル病院さんが確保してくれました。ワクチンの予約が混乱している中、本当に感謝です。ワクチンについては、初めてということで分からないことも多く、副反応も心配ですが、やはり効果に期待しています。人にうつす可能性が低くなる、感染しても重症化しないなど、リスクより効果が上回るようです。他の利用者の方の接種の日程については未定ですが、一日でも早く接種ができるように関係機関と調整を進めていきたいと思ひます。  
(看護師 松村)



## 行事報告

※ 4/21 (水) ~5/20 (木) の実施分について報告いたします

### ★ 利用者健康診断【4月14日(水)・21日(水) つくしの里】

熊本セントラル病院より出張していただき今年度1回目の健康診断を行いました。健診項目は、身体計測・血圧・検尿・視力検査・聴力検査・心電図・血液検査・胸部レントゲン・診察です。例年通りのため、利用者さんもスムーズに動かれ時間内で終了することができました。健診結果については揃い次第お知らせします。(看護師 松村)



- ①視力検査：しっかり見て輪の切れているところを伝えます  
②胸部レントゲン：職員が付き添ってレントゲン車へ  
③血液検査：「チクッとしますよ」ちょっと痛いけど我慢・・・



### ★ つくしんピック【5月11日(火) つくしの里】

#### 《いきいきグループ》

本来であれば、例年この時期には大津北小学校の運動会に参加させて頂いていますが、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、施設内で班別のリモート対戦として玉入れ大会・空き缶積み大会を行いました。競技では、いきいきグループの皆さんも熱気に溢れ、司会の私の合図が待てず競技を始められる方もちらほらと…。また、昼食の際には豪華なお弁当を準備し、皆さん美味しそうに召し上がられていました。皆さんが楽しく体を動かし、ストレスが少しは解消出来たかな？と思います。(支援員 井)

#### 《きらめきグループ》

コロナウイルスの感染拡大が続く中、全体で集まって運動会を実施するのが難しい状況でした。しかし、どうにか形として残したく、リモートつくしんピックを提案させて頂きました。慣れない事で勝手が分からず、皆さん試行錯誤での行事となりましたが、空き缶積みでは誰よりも高く、応援が鳴りやまない班もあれば、缶を落とさないように慎重に慎重に静かに集中して取り組む班も……。玉入れ大会では人数が少なくても熱心に取り組む班や、人数が多い分ハンディキャップを入れてみる班などなど。リモートならではの各々の班の特色を見ることができました。相手の姿は見えないものの、皆さんたくさん体を動かして昼は豪華なお弁当を食べて頂き、満面の笑みで喜んでいただけましたと思います。今回のリモートの反省を生かし、これから様々な行事に反映できればと思います。

(支援員 三木)



## サービス向上委員会より

### ■ 意思決定支援【主任支援員 小嶋・支援員 上村・錦戸・松尾ま】

意思決定支援委員会では、利用者さんの意思がつくしの里を利用する中で反映されているのか、したく無い事を無理やりさせられていないか等を考え活動する委員会です。

先月の話し合いでは、食事の際にただ単に食事をしており楽しみながら食事は出来ていないのではないか、入浴の際に本当はゆっくり浸かりたいのに急かされていないか等が挙がりました。利用者さんがつくしの里を利用していく中で良く思っているのか、本当はあまりよく思っていないのではないか等を今後話し合い、より一層利用者さんが快適に生活する事が出来る様4名の委員で1年間頑張っていきます。



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和三年四月二十一日～

令和三年五月二十日です

【ショートステイ・

日中一時支援事業のご利用】

(三名 延べ 六日)

※四月二十四日からショートステイ、日中一時支援等の受け入れは中止させていただいています。

【寄付・寄贈】

- |              |          |
|--------------|----------|
| ・岩根 治美 様     | ・後藤 弘子 様 |
| ・馬原 伸二 様     | ・守田 勝之 様 |
| ・米田 政輝 様     | ・渡辺 昭子 様 |
| ・高本 智美 様     | ・本田 瑞希 様 |
| ・NPO法人ここりす 様 |          |

誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の終息が見えないうえに、例年より早い梅雨入り。長雨になると、つくしの里の中庭には、謎の白いキノコが生えてきます。キノコの前はタンポポでした。

左の写真は、支援部のK課長が朝礼前の時間を使って、そのタンポポの除草作業をしている場面です。短い時間でも気分転換になって、リフレッシュできるそうです。自分なりに気分の切り替え方を用意して、ストレスの少ない毎日になりたいですね。

